



# あすなる

## ASUNARO-INSTITUTION



伊勢神宮にて

お伊勢参りをしてきました。  
詳しくはP 3で紹介しています。



### 社会福祉法人 江差福社会 運営施設一覧

#### 【施設入所支援・生活介護事業所】

あすなる学園

#### 【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるアクティビティセンター

従たる事業所【生活介護事業所】

繁次郎

#### 【就労継続支援B型】

あすなるパン

#### 【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるケータリングセンター

#### 【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる新地センター

#### 【生活介護事業所】

あすなる地域交流センター

#### 【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる日明センター

#### 【障害者相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業所】

あすなる相談支援センター

(江差町・乙部町・厚沢部町・奥尻町指定委託事業)

#### 【就労継続支援A型事業所】

バリアフリーホテルあすなる

#### 【就労継続支援A型事業所】

あすなるFDセンター

#### 【知的障がい者グループホーム】

はまなす荘	第2ケアホーム南ヶ丘
はらだハイツ	ケアホーム円山
メゾンドフェミニン	ケアホーム茂尻
番重ホー ム	ケアホーム尾山
乙部緑町寮	ケアホームたざわ
南ヶ丘女子寮	ケアホーム砂川
第2南ヶ丘女子寮	ケアホームじんや
尾山第3寮	ケアホーム伏木戸
尾山第4寮	ケアホームおおま
松林ホー ム	ケアホーム南ヶ丘
村田ホー ム	第1ケアホーム本町
みんなの家	第2ケアホーム本町
第2ケアホーム伏木戸	第2ケアホーム尾山
第3ケアホーム伏木戸	ケアホームしんち

#### 【認知症対応型共同生活介護施設】

シルバーハウスケープ赤石  
シルバーハウス第2ケープ赤石

## 「年頭に寄せて」



理事長 樋口 英俊

平成 29 年が明けて早 1 カ月が経過しましたが皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。また日頃より法人運営にご協力、ご支援を頂き謹んで御礼を申し上げます。

さて、1 月 29 日新聞報道にて既にご存知のことと思いますが、当法人運営施設あすなろパン製造品よりノロウイルス感染被害を誘発し多くの方々へ多大なご迷惑、ご心配をお掛けし心よりお詫び申し上げます。考えられる要因としては、正月帰省後に胃腸炎の症状を訴える利用者が俄かに現れ、グループホーム等の共同生活において感染が拡がり、更にこの度の感染対象者は自覚症状の認識も無くパン作業に従事したため感染が増幅したものと思われます。これらの状況を検証し予防措置の遵守要件として、体調不良者の発見と検査、隔離措置体制の確立と、衛生保持体制の再構築に深く猛省をしております。築いた信用、信頼がこのような事態により損なわれることは心痛の限りではありますが、再生に向け再度のご支援を賜り見守って頂ければ幸いです。

新年を迎え当法人も 27 年が経過し、利用者 380 名、職員 153 名の大きな組織集団に成長しました。今春も高等養護学校卒業後の進路として 15 名の新規利用者が希望されており、利用者から負託される利用ニーズの充足と補完体制に鑑み、その責任の重さを今更ながら再認識しております。



結びとなりますが今年は個人的にも 5 回目の干支年にあたり節目の年でもあります。どうか皆様が今年 1 年健やかに過ごされますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。



# お伊勢参りをしてきました——!!

新しい年を迎え、江差福祉会も開設27年目を迎えようとしています。  
年が明けて去る1月15日から2泊3日で、法人初のお伊勢参りを総勢80名で行ってきました。

移動手段は北海道新幹線を利用し、車窓からは富士山も眺めました。現地ではとにかく高級食材を堪能し、気分を新たに新年の船出をきる事が出来たと思います。私達が三重県入りした日の天気はあいにくの雪。普段は雪が降る事がない土地である事から、高速が通行止めとなり移動に時間が掛かってしまう等のハプニングもありましたが、そんな事はなんのそのと言わんばかりに皆さん大はしゃぎでした。それもそのはずです。利用者さんを待っていたのは、高級ホテルに高級料理なのですから・・・。本場の伊勢エビに松阪牛は絶品でした。さすが高級ホテル!! 仲居さんの接客サービスも素晴らしく大変勉強になりました。お伊勢参りでは内宮のみの参拝になりましたが、近年パワースポットと呼ばれている地で思う存分パワーを頂いてきました。「お伊勢さん」こと伊勢神宮は言葉では言い表せない異空間のような印象を受けました。



新幹線の車窓から



一泊目 宿泊ホテル花水木にて目でも楽しめる料理でした。本場の伊勢エビは最高でした!!



二日目 昼食は明治11年創業 松阪牛の元祖「和田金」にて、すき焼きに舌鼓をうちました。美味しかった——。



二泊目 宿泊ホテル羽鳥シーサイドホテルにて今年、還暦を迎えた理事長と水嶋施設長が皆の前でカラオケを披露してくれました。皆、大盛り上がりでした!!



# バリアフリーホテル あすなろの近況報告

## 道福祉のまちづくり賞 受賞

第18回 道福祉まちづくり賞にバリアフリーホテルあすなろが選ばれ表彰されました。

法人が運営するバリアフリーホテルあすなろは、道内初、全国で4ヶ所目。盛大なグランドオープンから早いもので1年9ヶ月が過ぎました。

ソフト・ハード面共に完全バリアフリーのホテルは全国初で、利用者と職員が一つになって走ってきました。

探求・追究の繰り返しの中で得たもの……。それは利用者さんの“働く”という事に対する意識向上でした。それぞれの部門で金色のネームバッヂを身に付けた彼等は、この2年弱で大きな成長を遂げていました。年末のお客様をもてなす為に、20人の利用者さん達は自宅帰省もせず仕事をしていました。そんな真っ直ぐな彼等、彼女等を見ていると、障がいを克服するという姿がそこにあるような気がします。

### 道福祉のまちづくり賞

### 乙部・ホテルあすなろに

### バリアフリー障害者雇用も

【乙部】本年度の北海道福祉のまちづくり賞の公募された年が始まり18回目。施設部門に社会福祉法人江差福祉会が乙部町内で運営する「バリアフリーホテルあすなろ」が選ばれた。今月25日に道庁赤レンガ庁舎で表彰式が行われる。同賞は1998年に道福

祉のまちづくり条例が施行された年が始まり18回目。施設部門に社会福祉法人江差福祉会が乙部町内で運営する「バリアフリーホテルあすなろ」が選ばれた。今月25日に道庁赤レンガ庁舎で表彰式が行われる。同賞は1998年に道福



【住所】 爾志郡乙部町館浦494-1 【TEL】 0139-62-3344

【H P】 barrier-free-hotel-asunaro.com



今年度は知名度が向上した効果もあり、集客数の大幅アップがありました。

しかし、冬期間に入り閑散期を迎えているのが現状です。

遠方への旅が困難な方やそのご家族の皆様、是非、当ホテルをご利用頂き特別な1日の思い出を作ってみませんか？ご家族だけでは困難な介助は私達がサポート致します。

お待ちしております。

バリアフリーホテル職員・利用者一同



# グループホーム紹介



今年度も新規利用者の受け入れが25名ありました。毎年、グループホームの新設を行っている江差福祉会ですが、春に新設した第2ケアホーム尾山に続き、12月1日、新たに開設となったのがケアホームしんちです。法人のグループホームの数も27棟目となりました。

ケアホームしんちは女子8名で構成されています。地域生活の経験が豊富な方と新卒の方のバランスが良く、毎日デイルームではガールズトークに花が咲き皆でDVD鑑賞をする等、賑やかなグループホームです。立地も江差の中心地である新地町に位置しています。

毎年グループホームの新設がある中で、ある利用者さんから理事長に一言・・・。「理事長先生、私達のグループホームを建て替えてくれないの〜？」新設だけでなく建て替え〜とびっくりする職員をよそに、そんな会話が交わされています。そんな声も大切に大切に拾ってしまう理事長でした・・・。



先輩達がきさくに話を聞いてくれるのですごく楽しいです。  
住むところが新しく、とっても快適に過ごしています。

先輩達とデイルームでコーヒーを飲みながらおしゃべりするのが楽しいです。  
寮が新しいので使いやすいし、お風呂も広いです。



## 今春開設に向けて、新たなグループホームも建設中であ。



今春には中歌町（いにしえ街道の中心部）にも新設予定となっており、準備も着々と進んでいます。いにしえ街道に新設という事でグループホームの外観がどのようにデザインされるのか乞うご期待下さい。

← 今春開設予定  
グループホーム予定地  
他に柳崎町にも新設予定となっています。



辻久建設で就労している土門さんです。グループホームを頑張ってます。

### いにしえ街道とは・・・

江差は江戸時代から「江差の五月は江戸にもない」とうたわれ、北前船による檜材やニシンの交易で栄えました。現在もそれに関連した歴史的産業建築物が数多く残されています。新しいのどこか懐かしい街並。をコンセプトにプロジェクトチームが立ち上げられ、日本の美しさと懐かしさを感じさせる「いにしえ街道」が誕生しました。

観光客なら誰もが立ち寄り名所となっています。



# 行事紹介

・ 8/11	姥神大神宮祭見学	15名
・ 8/28 ~ 9/2	ハワイ旅行	115名
・ 9/25	北海道2016杜の賑い	100名
・ 9/28	女流講談母娘寄席	40名
・ 9/30	福田こうへいコンサート	101名
・ 10/1 ~ 10/4	関西旅行	150名
・ 11/8 ~ 11/9	札幌旅行(五木ひろし&八代亜紀コンサート)	121名
・ 12/12 ~ 12/18	各寮クリスマス会	
	※12日(月)58名・13日(火)56名・14日(水)60名	
	16日(金)56名・17日(土)56名・18日(日)33名	
・ 12/19	あすなる学園クリスマス会	72名
・ 12/21 ~ 12/22	札幌旅行(クリスマスディナーショー)	10名
・ 12/21	地域利用者忘年会	367名



2016.8.28 ~ 9.2  
ハワイ旅行



2016.11.8 ~ 11.9  
札幌旅行



2016.10.1 ~ 10.4  
関西旅行



2016.12.21  
地域利用者忘年会



# 大盛況に終わりました

法人の1年を締めくくる一大行事が無事に終了致しました。

クリスマスケーキとオードブルから始まり、年末御節とオードブルと平成28年の締めくくりとして、法人が一つになり販売する事が出来ました。

購入にご協力下さった皆様本当にありがとうございました。

江差福祉会は、今後も作業工賃の向上に向けて邁進していきます。



今回のケーキの特徴は、小麦粉を変更し今までよりもしっとりとしたスポンジに仕上げました。生クリームも十勝ホイップを使用する事で上品な甘さを追及し仕上げました！！

今年のケーキの総販売台数は3日間で720台となりました。本当にありがとうございました。



あすなろパン

施設長 梅村 雅晴



【クリスマスオードブル】

今回も例年、人気の高いローストチキンを入れてボリュームある内容にしましたが、結果は販売総台数が200台と伸び悩む結果になってしまいました。次回は、ボリュームだけでなく世代問わずに楽しめる内容にしていきたいと思います。

【年末オードブル】

新年を迎えるにあたり、色彩を明るくする事をイメージしました。今回は5000円のオードブルの受注を多く頂く事が出来ました。

購入下さった皆様、ありがとうございました。



あすなろアクティビティセンター

施設長 丸井 悦津子



今回のおせちは「ケータリングセンター全員で作ったおせち」をコンセプトにして取り組みました。全員で作るおせちというのは、生活介護分野の取り組みでした。購入してくれた皆様に感謝をとの思いで、お重に合うようにと、はしをつける事にしました。はし袋を一生懸命1枚1枚折りました。本当に全員で作るおせちを完成する事が出来たと思います。

皆様のご協力のお陰で総販売台数は約1000台となりました！！

本当にありがとうございました。



あすなろケータリングセンター

施設長 野崎 亜有美

# 江差福祉会よりお知らせ



フリーズドライとは物体の水分を凍ったまま乾燥させる製法のことです。真空凍結乾燥機(フリーズドライ)を使い、 $-40^{\circ}\text{C}$ で急速に凍結し、さらに減圧し真空で水分を昇華させて乾燥させます。

当商品は炊き上げたごはんをフリーズドライ製法により物質中の水分をほとんど取り除く(含水率5%以下)ことにより微生物や雑菌の繁殖を抑え長期保存が可能となっています。

フリーズドライごはンは、熱風乾燥米(市販されているアルファ化米の大半が熱風乾燥米)と違い真空凍結乾燥(フリーズドライ)によってごはんの変質を抑えることができますが、熱風乾燥では乾燥時に熱による表面の硬質化による割れや変色等があります。

また、フリーズドライは物質中の水分が抜けるときに多孔質(水分が抜けた所に小さい穴が開く)を伴う為、水やお湯での復元性が良くなる性質がありますが、熱風乾燥では表面の硬質化により復元に乏しくなります。

以上の特徴により作りたてのおいしさそのままの状態でも7年という長期保存が可能となっております。

味は白飯、まいたけ、五穀の3種類を用意しており、**定価 白飯450円、まいたけ・五穀500円(全て税別)**で販売しております。

## 編集後記



2017年がスタートし早いもので1ヶ月が過ぎました。皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。江差福祉会は休む事なく前進あるのみの精神で日々を送っております。

今回行事引率させて頂く中で、71歳の利用者さんに同行させてもらい健康である事の素晴らしさと尊さを実感させて頂きました。又、バリアフリーホテルでコックの見習い中である利用者さんが見せた旅行中の態度に感銘を受けた事を添えさせて頂きたいと思います。それは彼が旅行中に仲居さんに見せた立ち居振る舞いです。仲居さんが運ぶ食事には会釈をしてお礼を言い、運ばれた料理に敬意を表すかのように、背筋を真っ直ぐ伸ばし箸をつける。この姿を見た時にこれがまさに樋口理事長が実践してきた事の結果だと感じました。自身の仕事にプライドを持ち日々生活を送る事と、経験の積み重ねが見聞となり力になったのだと見ていて心が温かくなる瞬間でした。常に、利用者さんから勉強させられながら日々を過ごしていますが、障害者と健常者の垣根は何なのかと考えさせられました。

あすなろ学園 辻・岩田・野崎

## お便り「あすなろ」 第48号

発行人 社会福祉法人江差福祉会 あすなろ学園  
住所 〒043-0023  
北海道檜山郡江差町字田沢町542-3  
電話 0139-52-5577  
FAX 0139-52-3187  
H P [www.asu-inst.server-shared.com/](http://www.asu-inst.server-shared.com/)